

中野区地域情報化推進計画の進捗状況について

区では、令和3年11月に「第2次中野区地域情報化推進計画」（以下「計画」という。）を策定し今後の区の情報化施策の基本的な方向性を示すとともに、令和6年度の新庁舎移転を見据え、計画的にDXを推進している。令和3年度までの取組状況及び令和4年度以降の取組予定について、以下のとおり報告する。

1 計画の進捗管理

情報化に向けた取組の進捗状況と成果指標の確認をあわせて行い、事業の見通しや課題等を取りまとめたものである。今後、議会等の意見を踏まえながらさらに検討を深め、当該年度や翌年度以降の事業に反映するとともに、取組の見直しを進めていく。

2 取組状況の確認手順

(1) 第5章の各取組の実施内容におけるスケジュール

計画におけるスケジュールに基づき、進捗状況を「◎（スケジュールどおり取り組んだ）」、「○（スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ）」、「△（着手したものの十分に進行しているとはいえない）」、「×（未着手）」の4段階で区分した。

(2) 第5章の成果指標

令和3年度末時点の実績を確認した。

3 各取組の進捗状況

令和3年度においては、概ねスケジュールどおり取り組んでいることを確認した。

（詳細は別紙1のとおり）

進捗状況の区分	取組の数
◎（スケジュールどおり取り組んだ）	97
○（スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ）	4
△（着手したものの十分に進行しているとはいえない）	1
×（未着手）	1

4 成果指標の推移

目標1 ICTを活用した行政サービスの提供による区民の利便性向上と地域の活性化

指標項目	実績		目標	
	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度
区内のマイナンバーカード交付率	31.6%	46.0%	100%	100%
オンラインによる申請手続受付件数	約146万件	約171万件	170万件	200万件
地図情報に関する窓口及び電話等問い合わせ件数	約12万件	—	—	約6万件
区が特に力を入れていると感じる施策が「情報化の推進」である割合	2.1%	3.9%	5%	10%
区と連携してデジタルデバイドの解消に向けた取組を行う団体数	2団体	3団体	4団体	6団体

目標2 効率的で質の高い情報基盤の整備による区政運営の推進

指標項目	実績		目標	
	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度
本庁舎の執務室等で保有し、組織で共有している文書量 (fm) ※	約8,800fm	約6,200fm	約3,600fm	約3,000fm
AI・RPAの活用による業務改善数	2件	4件	7件	15件
標準化システムへ移行した事業数	0/15	0/15	1/15	15/15
情報セキュリティ事故発生件数	14件	15件	0件	0件
ICT資格の「ITパスポート試験」取得者数	13名	14名	20名	30名

※fm (ファイルメーター) : 書類を積み上げた高さをメートル単位で測ったもので、一般的に1fmは約1万枚と換算する。

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】
 ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
 ○・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
 △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
 ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-1-① マイナンバーカードの普及促進	○マイナンバーカード交付窓口の拡大や交付体制の強化	◎		特設窓口の設置など交付窓口の拡大し交付体制の強化を図った。(年度未交付率約46%)	夜間受付日数の増加(火→火、木)及び日曜窓口における交付可能件数の増(150件→300件)により交付体制の強化を図る。(年度未交付率75%)	申請時来庁方式や郵送交付受付を継続実施し、交付体制の強化を図る。	戸籍住民課
	コンビニ交付サービスの利用促進	◎		区報、HP、チラシ等による広報により区民へ周知し利用促進を図った。(R3年度交付数77,500件)	区報、HP、チラシ等による広報により区民へ周知し利用促進を図る。(R4年度交付数116,000件)	区報、HP、チラシ等による広報により区民へ周知し利用促進を図る。	戸籍住民課
1-1-② ぴったりサービスなどマイナンバーカードを活用した電子手続の拡充	○ぴったりサービスでの子育て、介護関係等の手続拡充	◎		各所管と拡充に向けたスケジュール等の検討を行った。	ぴったりサービス電子申請連携システムの構築にあわせて、順次オンライン申請の運用を開始する。	国が指定する子育て、介護関係等のぴったりサービスでの電子申請をすべて開始する。	情報システム課 (子育て支援課、介護・高齢者支援課、北部すこやか福祉センター)
	(国)罹災証明書の発行申請手続について、内閣府が整備するクラウド型被災者支援システムとマイナポータルとの連携対応	△		東京都被災者生活再建支援システム利用者協議会において検討された。	継続して検討される予定。		(防災危機管理課)
	○罹災証明書の発行申請手続について、国の方針からの区の対応検討	×	東京都被災者生活再建支援システム利用者協議会において検討中のため	—	罹災証明書の発行申請手続について、国の方針等が示されたのち区の対応を検討する。	—	防災危機管理課
	○マイナンバーカード普及に伴う他の電子手続等との役割分担及びオンラインサービスについての整理	◎		ぴったりサービスと都の電子申請サービス、民間サービスの比較検討を行った。	都の電子申請サービスの機能拡充について情報収集を行いながら、公的個人認証を利用した電子申請の拡充検討を進める。	(推進)	情報システム課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】
 ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
 ○・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
 △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
 ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-1-③ ペーパーレスの推進と押印の見直し	ペーパーレス推進体制の構築	◎		各部のペーパーレスの進捗状況を管理するため、副区長及び部長を構成員とするペーパーレス推進本部を設置した。また、各課の係長級職員が中心となってペーパーレスを推進する体制を構築した。	ペーパーレス推進本部で各部のペーパーレスの進捗状況を確認しながら、引き続き推進に努める。	(推進)	新区役所整備課
	◎現状調査・諸手続の見直し	◎		押印等の廃止に係る指針を定め、各所管で手続を見直し、廃止を進めた。	指針に基づき、各所管で手続を見直し、廃止を進める。	(推進)	新区役所整備課
	◎紙資料のペーパーレス	◎		電子化すべき文書の基準を示し、各所管で電子化の計画を定めた。	各所管の計画に基づき、引き続き電子化に努める。	(推進)	新区役所整備課
1-1-④ 電子申請サービスの見直し	(都)電子申請システムの見直し	◎		スマートフォンを利用した個人認証やキャッシュレス決済等の機能拡充について検討が行われ、令和4年度のシステム改修スケジュール案が示された。			(情報システム課)
	○都の電子申請システムの見直し対応及び手続可能なサービスの拡充	◎		区民が申請する手続のオンライン化の状況について全庁的な調査を行った。	調査結果に基づき、オンライン化できない要因を抽出し、電子申請の拡充に向けた検討を行う。	(推進)	情報システム課
	(1-1-②再掲)○マイナンバーカード普及に伴う他の電子手続等との役割分担及びオンラインサービスについての整理						
1-1-⑤ 国が示しているマイナポータルからの電子手続を可能とする環境構築	(国)自治体の基幹システムとびったりサービスのオンライン接続についての標準仕様の提供	◎		標準仕様書が提供された。			(情報システム課)
	◎マイナポータル手続の電子化に向けた情報基盤の整備	◎		びったりサービス電子申請連携システムの導入を決定した。	びったりサービス電子申請連携システムの導入及び開発を行い、申請受付開始に向けて基盤整備を行う。	-	情報システム課
	○マイナポータルからの電子手続の拡充	◎		各所管と拡充に向けたスケジュール等の検討を行った。	びったりサービス電子申請連携システムの構築にあわせて、順次オンライン申請の運用を開始する。	国が指定する子育て、介護関係等のびったりサービスでの電子申請をすべて開始する。また、り災証明手続等の拡充について検討を行う。	情報システム課 (子育て支援課、介護・高齢者支援課、北部すこやか福祉センター、防災危機管理課)

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-2-① オープンデータの公開数の拡大	国から示された「自治体が公開することが推奨されるデータ及びフォーマット」の公開	◎		応用的なデータの公開数の拡充及び更新頻度の改善の検討を行った。	(推進)	(推進)	情報システム課
	○オープンデータの公開数の拡大	◎		新規に8データを公開した。	公開の需要が高いデータを中心に公開数の拡充検討と実施する。	(推進)	情報システム課
	○統合型GIS稼働による地図情報を活用したデータの公開	◎		オープンデータの拡充も見据えて、企画提案公募型事業者選定方式により構築事業者を選定した。	統合型GISの構築を開始し、データの整備、仮稼働を行う。	令和5年10月の本稼働に伴い、地図データを公開する。	情報システム課
	職員向け研修の検討・実施	◎		オープンデータの意義や庁内外で活用しやすいデータの作成方法等に関する研修を実施した。	統合型GISへの搭載データを充実するため、説明会を実施する。	統合型GISによるデータ公開手順等の操作研修を実施する。	情報システム課 職員課
1-2-② ホームページのリニューアル	◎ホームページの統合・全面リニューアル	◎		構想企画を実施。リニューアルに向けて各CMS業者と打ち合わせを実施した。	企画提案公募型事業者選定方式により業者を選定する。	令和5年10月中に新ホームページ運用を開始する。	広聴・広報課
1-2-③ 区民意識・実態調査のオンライン化、各事業のニーズ・満足度等調査の実施	区ホームページのアンケート機能を使用した調査	◎		各課がアンケート機能を利用するよう周知した。	(推進)	(推進)	広聴・広報課
	◎区ホームページのリニューアルによるアンケート機能の強化	◎		リニューアルに向けて機能要件にアンケート機能の強化の項目を記載、各CMS業者と打ち合わせを実施した。	企画提案公募型事業者選定方式により業者を選定する。	令和5年10月中の新ホームページ運用開始に伴いアンケート機能の強化を図る。	広聴・広報課
	◎区民意識・実態調査のオンライン化	◎		令和4年度の実施(オンライン回答の導入)に向けて、委託契約の仕様作成等を進めた。	委託事業者の選定を行い、調査の実施、結果の公表を行うとともに全面オンライン化に向けた検討を進める。	オンライン回答を推進するとともに、全面オンライン化に向けた検討を行う。	総務課
1-2-④ 統合型GISの活用	◎統合型GIS導入・活用	◎		統合型GISの導入を決定し、構築・運用保守事業者を選定した。	統合型GISの構築を開始し、データの整備及び仮稼働を実施する。また、全庁的な活用に向けて職員への周知や研修を実施する。	令和5年10月の本稼働に伴い、地図データの公開及び庁内の業務改善を開始する。	情報システム課
	地図資料などのペーパーレス化	◎		電子化すべき文書の基準を示し、各所管で統合型GISに登録する文書の電子化の計画を定めた。	各所管の計画に基づき、統合型GISに登録する文書の電子化を行う。	(推進)	新区役所整備課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-3-① オンラインを活用した相談・講座の開催	オンラインを活用した相談・講座の操作方法の周知	◎		会議室のWi-Fi設置など環境整備を行った。 また、あわせて職員用マニュアルを作成し、説明会を実施した。	Web会議開催数が拡大したため「実施の際の注意点」を更新していき、引き続き操作方法の周知に努める。	(推進)	情報システム課
	オンラインを活用した相談・講座開催	◎		林野庁が主催する後援事業においてWeb開催により区民サービス向上が図られた。 また、事業者との打合せや庁外施設の職員の出席を求める打合せ等はWeb会議の活用を推進した。	標準化にむけたバンダー説明会や地球温暖化防止出前講座を新たに検討する。 また、打合せ等におけるWeb会議の更なる活用を進めていく。	標準化にむけたバンダー説明会や、来庁者との省エネ相談等においてWeb会議の活用を検討する。 また、打合せ等におけるWeb会議の更なる活用を進めていく。	情報システム課 相談・講座等実施課
	パソコン教室やスマートフォン教室の開催	◎		都や区内団体と共催で開催するパソコン教室やスマートフォン教室の中で、Web会議についての説明を盛り込んで実施した。	(推進)	(推進)	情報システム課
1-3-② 地域をつなげる仕組みの構築	◎モバイル機器利用に向けたきっかけの創出	◎		デジタルデバイドの解消に向けた取組の今後の方向性を定め、令和4年度の実施内容を決定した。	東京都のスマートフォン体験会事業を活用してスマートフォンを所有していない区民に対して利便性を実感できる機会を提供するとともに、区においてはタブレット端末の貸出しを伴う実践型の講習会を実施する。	令和4年度取組結果をもとに、モバイル機器の有用性を広く地域の人に発信してくれるような、日頃から地域で活動している区民等に対して、モバイル機器の積極的な活用を促進し、デジタル化が自然と周囲に波及していく環境づくりを進めていく。	情報システム課
	◎モバイル機器講習会				タブレット端末の貸出しを伴う実践型の講習会を行う。あわせて相談会を実施する。	令和4年度取組結果を踏まえて事業を展開する。	情報システム課
	◎地域に携わる方を中心としたICTの活用	◎		地域に携わる方のICT活用の検討を行った。	タブレット端末の貸出しにあたっては、区報やポスター掲示を行うとともに、地域で活躍する団体等への周知を行う。 また、令和5年度以降の事業について検討を行う。	令和4年度取組結果を踏まえて事業を展開する。	情報システム課 地域活動推進課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】
 ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
 ○・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
 △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
 ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-3-③ 区有施設の 区民向けオンライン環境の整備	地域BWAシステムの協定	◎		区民活動センターへ地域BWAのルーターの貸出を新たに行った。	(推進)	(推進)	情報システム課 地域活動推進課
	Nakano Free Wi-Fi の見直し	◎		施策の効果検証結果から、令和4年度当初の事業終了とし、関係事業者等と必要な調整を行った。	区民等に対する周知をしたうえで、5月末で事業を終了した。	—	広聴・広報課
	◎区民活動センターにおけるオンライン環境の整備(モバイルルータ貸出)	◎		集会室利用団体にモバイルルーター(各センター2台)の貸出を開始した。	利用状況を確認しながら台数の増設などの今後の取り組みを検討する。	(推進)	地域活動推進課
	○本庁舎会議室等におけるオンライン環境の整備	◎		7階各会議室等に、Web会議用無線アクセスポイントを設置した。	継続して運用する。	(推進)	情報システム課
	◎新庁舎におけるオンライン環境の整備	◎		Free Wi-Fiについての情報を収集した。	新庁舎のネットワーク設計を、Free Wi-Fiの導入を前提として実施する。	Free Wi-Fiの導入を実施する。	情報システム課
	○区有施設におけるオンライン環境の拡充	○	スケジュールを前倒して、実際に施設整備に伴い環境を整備したため。	令和3年11月に開設した「みらいステッブなかの」にオンライン環境が整備された。	新庁舎移転後に区有施設における環境構築を検討する。	(推進)	情報システム課
1-3-④ 区役所内におけるオンライン会議の普及	◎オンライン会議活用の手引きの作成・周知	◎		職員用の手引きを作成するとともに説明会を実施し普及啓発を行った。	(推進)	(推進)	情報システム課
	◎オンライン会議開催・活用のための職員研修	◎		職員研修を行った。	(推進)	(推進)	情報システム課
1-4-① ICT技術を活用した高齢者の見守り・支えあいの推進	○ICT技術を活用した見守り・支えあいの支援の充実	◎		都の高齢者見守り相談窓口関係者連絡会に参加し、高齢者の見守りにおけるICTの活用について情報交換を行うなど、他自治体での取組事例等の情報収集を行った。	収集した情報を踏まえて、ICTを活用した高齢者への見守りについて検討する。	令和4年度の検討結果を踏まえ取組む。	地域活動推進課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-4-②	マイナポータルから本人や家族が健康情報を把握するための仕組み(PHR)の整備	◎		健康情報の連携の仕組みを構築した。	既存の健康情報の副本登録を行い、本格稼働を開始する。	随時情報を連携していく。	保健企画課
	(国)自治体間の健診受診情報の共有						(保健企画課)
	(国)電子処方箋の仕組みへの対応						(保健企画課)
	(国)自身の保険医療情報を活用できる仕組みへの対応						(保健企画課)
1-5-①	区内事業者に対するオンライン化支援	◎		産業交流展へのオンライン出展支援を行った。	産業交流展へのオンライン出展支援を強化する。	産業交流展やその他出展におけるオンライン出展支援の強化していく。	産業振興課
	区内事業者のICT化促進及び経済交流の支援	◎		経済団体等との区内事業者調査結果を踏まえたICT化促進支援策を検討した。	経済団体等との区内事業者調査結果を踏まえたICT化促進支援策の検討を進める。	区内事業者のICT化促進支援策を実施する。	産業振興課
	◎販路拡大のためのイベントや先端技術を紹介するセミナー等への事業者の参加を支援	◎		国や都におけるセミナー等を紹介した。	区内事業者のICT化促進支援のためのセミナー等参加促進の仕組み作りを検討する。	ICT化促進のためのセミナー等参加促進の支援策を実施する。	産業振興課
1-5-②	商店街のキャッシュレス化推進	◎		中野南口駅前商店街が取り組むキャッシュレス化事業の支援を行った。	鍋横大通商店会が行うキャッシュレス化事業の実施に向け調整していく。	新規実施商店街の募集と同時に、過去の事業実績を検証し、事業の改善を目指していく。	産業振興課
1-5-③	区有施設集会所等使用料の支払いのキャッシュレス化推進	◎		他部や他区での導入事例を収集した。	施設予約システムの対象施設数拡充の検討と併せて、キャッシュレス決済導入の方向性を検討していく。	令和4年度の検討結果を踏まえ取組む。	地域活動推進課 企画課
	◎他施設のキャッシュレス化				施設予約システムの対象施設数拡充の検討と併せて、キャッシュレス決済導入の方向性を検討していく。	令和4年度の検討結果を踏まえた取組を行う。	情報システム課 企画課 各施設所管課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-6-① デジタルデバイド解消に向けた支援	パソコン教室やスマートフォン教室の開催	◎		区内団体による教室が例年どおり開催された。 また、令和3年度から都がスマートフォン体験会を実施するとともに、総務省の取組で民間事業者がICTサポーターの育成事業を行った。	(推進)	(推進)	情報システム課
	◎区民のモバイル機器に関する実態把握	◎		区内団体による教室や都の事業への参加申込者数を把握した。	(推進)	(推進)	情報システム課
	(1-3-②再掲)◎モバイル機器利用に向けたきっかけの創出						
	(1-3-②再掲)◎モバイル機器講習会						
1-6-② 町会・自治会等公益活動団体におけるICT環境の支援(町会・自治会公益活動推進助成制度)	○助成金の支給(町会・自治会のICT活動)	◎		活動のための機器購入費等についても助成金の対象に含めるなど拡充した。	(推進)	(推進)	地域活動推進課
	◎町会・自治会等公益活動団体のICTスキルの向上に向けた支援	◎		WEB会議の開催支援を行った。 また、東京都等の支援制度を活用して、ICTスキル向上のための支援を行った。	(推進)	(推進)	地域活動推進課
	◎SNSやホームページ等による、町会・自治会等公益活動団体の情報発信の支援	◎		町会・自治会等の現状把握を行った。 また、研修等を実施した。	支援策・支援方法を検討する。	(推進)	地域活動推進課
1-7-① (1-2-①再掲)オープンデータの公開数の拡大	国から示された「自治体が公開することが推奨されるデータ及びフォーマット」の公開						
	○オープンデータの公開数の拡大						
	○統合型GIS稼働による地図情報を活用したデータの公開						
	職員向け研修の実施						

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】
 ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
 ○・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
 △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
 ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
1-7-②	産学官民協働専用窓口の広報	◎		区ホームページにおいて広報した。	(推進)	(推進)	情報システム課
	産学官民の協働に関する区の窓口体制の整備とデータ連携	◎		民間事業者が運営するウェブサイトと区のオープンデータの連携が始まった。また、都から紹介のあった民間事業者が運営するポータルサイトの活用を検討した。	他自治体の先進事例を研究しながら、民間ポータルサイト等と区のオープンデータの連携を検討する。	(推進)	情報システム課
1-7-③	東京都が整備する横断的な連携を可能とするデータ基盤(東京データプラットフォーム:TDPF)の活用	◎		TDPFの意見交換会や報告会等が開催された。			(情報システム課)
	(都)市区町村の行政データを整備・運用	◎		「データ整備支援事業」のモデル事業が実施され、データ整備マニュアルが策定された。			(情報システム課)
	◎TDPFとのデータ提供・活用	◎		都が開催したTDPFの意見交換会や報告会等に参加して情報収集を行った。	引き続き情報収集を行う。	(推進)	情報システム課
2-1-①	ペーパーレス推進体制の構築						
	◎現状調査・諸手続の見直し						
	◎紙資料のペーパーレス化						

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
2-1-② AI・RPAの利用促進	総務省の調査結果やガイドブック、他自治体事例等から導入検討	◎		導入の可能性について検討を行った。	標準化に向けて検討していくとともに選挙事務への利活用について、他自治体と情報共有を進め、導入について検討する。	(推進)	情報システム課 選挙管理委員会事務局
	○多言語AI通訳システムの充実	◎		音声機械通訳機能と三者間通訳機能を搭載したタブレットを55台配備している。令和3年度より対応言語を1言語追加し、13言語とした。	引き続き、外国人対応が多い窓口等に配備し活用する。	円滑に外国人対応を行うため、対応言語拡充等について検討する。	区民文化国際課
	◎滞納整理支援システムRPA連携導入	◎		RPAの導入により、滞納者の電話番号の照会書類作成や完納等による不要な滞納者情報削除を自動化した。	手入力作業の自動化を拡大する。	本格導入以降の実績を確認し、後年度の方針を検討する。	税務課
	◎収納業務におけるAI-OCRトライアル実施及び導入	◎		AI-OCRのトライアルを実施した。	これまで手入力で行っていた手書きの口座振替依頼書等の登録や特別徴収収納消込業務にAI-OCRを導入する。	(推進)	税務課
	○保育所利用関係申請のRPA拡充	◎		保育所利用関係申請書類(10様式)についてRPA化を行った。	保育所利用関係申請書類(3様式)についてのRPA化を行う。	子ども子育てシステムのリプレースや国のシステム標準化を鑑み、区民にとって申請しやすい環境作りを検討していく。	保育園・幼稚園課
	○保育所利用関係申請のAI-OCR拡充	◎		保育所利用関係申請書類(10様式)についてのAI-OCR化を行った。	保育所利用関係申請書類(3様式)についてのAI-OCR化を行う。	子ども子育てシステムのリプレースや国のシステム標準化を鑑み、区民にとって申請しやすい環境作りを検討していく。	保育園・幼稚園課
	◎保育所等AI入所選考システムの導入	◎		実証実験の結果を基に要件定義、設計・開発、運用テストなどを経て構築を完了した。	(推進)	子ども子育てシステムのリプレースや国のシステム標準化を鑑み、区民にとって申請しやすい環境作りを検討していく。	保育園・幼稚園課
	○ごみ分別アプリへのAI活用等拡充	◎		ごみ分別AIチャットボット機能を粗大ごみ受付サービスに導入することを検討し、次年度予算措置を行った。	ごみ分別AIチャットボット機能を粗大ごみ受付サービスに構築し運用を開始する。	ごみ分別AIチャットボット機能導入後のAIの学習状況・区民サービスの効果等を検証する。	ごみゼロ推進課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課	
2-1-③	窓口支援システムの導入	◎		住民情報システムのデータを利用し、申請書を作成するシステムを検討した。また、システムの要件や事務フロー案などの検討を行った。	窓口サービスの検討を継続して行い、システムの概要、要件定義を確定し、次年度予算要求を行う。	令和6年度の導入を目指し、システム開発を開始する。	情報システム課 新区役所整備課 各所管課	
2-1-④	統合型GISの活用	(1-2-④再掲)◎統合型GIS導入・活用						
		(1-2-④再掲)地図資料などのペーパーレス化						
	外からデータを登録する機能の利用				業務所管課における当該機能の活用方法の周知及びヒアリング等、利用開始に向けた検討を行う。	(推進)	情報システム課	
2-2-①	テレワークの推進	◎テレワークシステムの導入	○	スケジュールを前倒して、システムの試行を行ったため。	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした在宅勤務の緊急・臨時的運用として、情報システム課にてシステムの試行を行った。	必要な機器を希望する課に配付し、全庁的な利用を開始する。また、テレワークシステムを活用した在宅勤務制度の検討を行い、実施する。	テレワークシステムを活用する在宅勤務制度の運用を継続するとともに、ユニファイド・コミュニケーションの導入を踏まえて、さらなる拡充について検討する。	情報システム課 職員課
		◎ユニファイド・コミュニケーションの導入	◎		多機能ユニファイド・コミュニケーションの導入を決定した。	構築内容の検討、構築作業の実施、運用の検討等を行う。	システム構築及び職員を対象とした研修を行い、本格運用を開始する。	情報システム課
2-2-②	インターネットデータセンターの見直し・職員が情報共有等に使用する情報インフラの見直し	(都)都の都区市町村セキュリティクラウドの見直し	◎		次期セキュリティクラウドへの移行に向けた検討が行われた。	令和4年12月中旬までに次期セキュリティクラウドへの移行を完了させ、令和5年1月から運用を開始する予定		(情報システム課)
		◎都区市町村セキュリティクラウドへの対応	◎		次期セキュリティクラウドの移行対応を盛り込み次期インターネットデータセンターを選定した。	次期セキュリティクラウドへの接続切り替えを行う。	次期セキュリティクラウドへの接続を継続する。	情報システム課
		◎新庁舎移転を見据えたインターネットデータセンターの構築	◎		次期インターネットデータセンターの構築事業者を選定した。	次期インターネットデータセンターの構築を行う。	次期インターネットデータセンターの利用を継続する。	情報システム課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
2-2-③ 新庁舎における区民サービスを向上させるシステムの整備	(2-1-③再掲)◎新庁舎の窓口支援システムの導入						
	◎発券機システム	◎		一度の発券で複数の窓口における手続が可能となる共通発券機について、現庁舎において来庁者が多い戸籍住民課及び保険医療課での先行導入を検討した。	現庁舎において共通発券機を先行導入し、新庁舎における共通発券機による窓口運用について検証を行う。	新庁舎における導入に向け運用方法の検討を行い、新庁舎稼働前のテスト運用を経て本格運用を開始する。	戸籍住民課 保険医療課 各窓口所管課
	◎議場システム	◎		新庁舎に導入する議場システムの検討を行い、次年度予算措置を行った。	議場システム整備工事の議決を経た上で契約締結を行う。	令和5年度中に工事を完了し、新庁舎において運用する。	区議会事務局
	Free Wi-Fiの運用	◎		情報収集を実施した。	新庁舎のネットワーク設計を、Free Wi-Fiの導入を前提として行う。	新庁舎に区民が利用可能なFree Wi-Fiの導入を行う。	情報システム課
2-2-④ 新庁舎における情報基盤の整備	◎移転に向けた機器の調達	◎		移転に向けて調達が必要な機器の情報を収集した。	機器調達のための予算要求を行う。	必要な機器の調達を行う。	情報システム課
	◎ネットワークの整備	◎		新庁舎ネットワーク設計委託に係る次年度予算措置を行った。	既存ネットワークの調査及び新庁舎のネットワーク環境の設計を行う。	ネットワーク環境の構築を行う。	情報システム課
	(2-2-①再掲)◎ユニファイド・コミュニケーションの導入						
	◎既存システムの機器の移転	◎		既存システムの機器の移転に向けて調査を実施した。	将来的な端末の最適化を見据えながら、機器の移転に向けた調達について検討を行い、調達方針を庁内に示す。	新庁舎移転に向けて必要な経費を予算に計上し、円滑な移転を進める。	情報システム課
2-2-⑤ 統合仮想サーバ環境の最適化（ガバメントクラウドを見据えた方針の決定）	(国)共通化(クラウドサービス)「(仮称)Gov-Cloud」の提供	◎		国においては、実証実験の状況報告や検討状況等について情報提供があった。	国の実証実験の課題等「(仮称)Gov-Cloud」への移行に向けた検討材料が提供される予定	「(仮称)Gov-Cloud」への移行が進められる予定	(情報システム課)
	(国)事業者による標準準拠システム開発「(仮称)Gov-Cloud」上でのサービス提供	◎		国における検討状況等について情報提供があった。	標準準拠システムの開発状況について情報提供がある予定	標準準拠システムへの移行が進められる予定	(情報システム課)
	クラウドサービス利用の方針決定	◎		国の共通化の動向について情報収集を行った。	国の共通化の動向を見つつ、方針について検討する。	(推進)	情報システム課
	◎国が指定し、該当する15業務システム国のスケジュールに合わせて、段階的に移行	◎		国の動向や実証実験の状況を確認し、対象業務システムのリプレース時期の調査、整理を行った。	国の実証実験の検証結果を確認し、移行に向けた検討を行う。	段階的に移行を行う。	情報システム課
	◎国が指定し、該当する15業務以外のシステム運用している各システムについて、リプレース等を契機とした最適化の検討	◎		国の動向を確認した。	地方公共団体の基幹業務システムのガバメントクラウドの利用に関する基準をもとに移行の検討を行う。	(推進)	情報システム課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
2-3-① 情報システムの標準化・共通化(クラウドサービス)	(国)先行の住民基本台帳業務の標準仕様策定・仕様の調整	◎		意見照会が行われ、標準仕様が改定された。	—	—	(戸籍住民課)
	標準仕様と現行システム及び事務や関連システム等の対応度調査	◎		標準仕様の確認を行った。	標準仕様の調査回答と実業務のフィット&ギャップを検証する。		戸籍住民課
	標準化・共通化に向けた移行方針決定	◎		移行方針(ガイドライン)の検討を行った。	移行方針(ガイドライン)の検討、策定を行う。	移行方針(ガイドライン)の運用を行う。	情報システム課
	住民基本台帳業務のシステム標準化対応後の事務運用方針等決定	◎		標準仕様の確認を行った。	事務運用方針等と実業務のフィット&ギャップを検証する。		戸籍住民課
	(国)共通化(クラウドサービス)「(仮称)Gov-Cloud」の提供	◎		国においては、実証実験の状況報告や検討状況等について情報提供があった。	国の実証実験の課題等「(仮称)Gov-Cloud」への移行に向けた検討材料が提供される予定	「(仮称)Gov-Cloud」への移行が進められる予定	情報システム課
	(国)事業者による標準準拠システム開発(「(仮称)Gov-Cloud」上でのサービス提供)	◎		国における検討状況等について情報提供があった。	標準準拠システムの開発状況について情報提供がある予定	標準準拠システムへの移行が進められる予定	情報システム課
	◎住民基本台帳業務の標準化・共通化対応	◎		標準仕様の確認作業を行った。	標準仕様と実業務のフィット&ギャップを検証及び実施可能ベンダの検証を行う。	新システムを調達し、システム移行を行う。	戸籍住民課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
2-3-① 情報システムの標準化・共通化(クラウドサービス)	(国)1期(個人住民税、軽自動車税、障害者福祉、介護保険、就学)標準化の仕様策定・仕様の調整	◎		意見照会が行われ、標準仕様が決定された。			情報システム課 税務課 学校教育課 介護・高齢者支援課 福祉推進課
	標準仕様と現行システム及び事務や関連システム等の対応度調査	◎		各業務所管課において、現行ベンダに対して「標準化・共通化への対応確認」の調査を実施した。	国の検討の進捗に応じた調査を実施し、対応度を把握する。業務で使用している最新の帳票や業務フローを整理する。		情報システム課 税務課 学校教育課 介護・高齢者支援課 福祉推進課
	1期のシステム標準化対応後の事務運用方針等決定	◎		事務運用方針等の検討を行った。	(推進)	R5年度に事務運用方針等を決定する。	情報システム課 税務課 学校教育課 介護・高齢者支援課 福祉推進課
	◎1期の標準化・共通化対応	◎		標準仕様書と現行業務の比較確認を行い、国からの標準仕様書改定に向けた意見照会に回答を行った。	令和4年8月改定予定の標準仕様書をもとに検討を行い、令和5年度に向けた予算要求を行う。	R5年度にシステムを選定した上で予算要求を行う。また、R6年度から移行テストを開始し、移行を進める。	情報システム課 税務課 学校教育課 介護・高齢者支援課 福祉推進課
	(国)2期(戸籍の付票、戸籍、選挙人名簿管理、国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療、児童手当、生活保護、健康管理、児童扶養手当、子ども子育て支援)標準化の仕様策定・仕様の調整				意見照会が行われ、標準仕様が決定された。	—	戸籍住民課 保険医療課 子ども教育・政策課 子育て支援課 生活支援課 保健企画課 選挙管理委員会事務局
	標準仕様と現行システム及び事務や関連システム等の対応度調査	◎		各業務所管課において、現行ベンダに対して「標準化・共通化への対応確認」の調査を実施した。	国の検討の進捗に応じた調査を実施し、対応度を把握する。業務で使用している最新の帳票や業務フローを整理する。	(推進)	情報システム課 戸籍住民課 保険医療課 子ども教育・政策課 生活支援課 保健企画課 選挙管理委員会事務局

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】
 ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
 ○・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
 △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
 ×・・・未着手

実施内容	事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
2-3-① 情報システムの標準化・共通化(クラウドサービス)	2期のシステム標準化対応後の事務運用方針等決定	◎		各ベンダ及び関連部署からの情報収集を行った。	事務運用方針等の検討を行う。	令和6年度に事務運用方針等を決定する。	情報システム課 戸籍住民課 保険医療課(国保・後期・年金) 選挙管理委員会事務局 保健企画課
	◎2期の標準化・共通化対応	◎		各ベンダ及び関連部署からの情報収集を行った。	標準仕様書と現行業務の比較確認を行い、令和5年度に向けた予算要求を行う。	R5年度にシステムを選定した上で予算要求を行う。また、R6年度から移行テストを開始し、移行を進める。	情報システム課 戸籍住民課 保険医療課(国保・後期・年金) 子ども教育・政策課 生活介護課 保健企画課 選挙管理委員会事務局
	◎標準化対象業務とデータ接続している業務システムのシステム改修	◎		国の動向を確認しながら、関連部署から情報収集を行った。	データ要件・連携要件の標準仕様を受けて、データ連携や仕様等の検証、接続システムの改修範囲と改修内容の特定を行う。	R5年度にシステムを選定した上で予算要求を行う。また、R6年度から移行テストを開始し、移行を進める。	情報システム課 戸籍住民課 税務課 保険医療課(国保) 保健企画課 住宅課
2-4-① システムや機器、運用管理について統合等の見直し	調達ガイドラインの運用(PDCAサイクル)	◎		政策評価委員会において24件の評価を実施するなど、適切な運用に努めた	(推進)	(推進)	情報システム課
	○調達ガイドラインの改定(SLA方針の追加)	◎		中野区情報安全対策基準を改定し、各契約ごとに求めるべき水準を具体的な数値を用いて契約内容に含めるよう検討を行うことと明記した。 また、ライフサイクル調達執行計画の中で、システム調達時に、サービスレベルを明確にすることを定め、導入所管課が契約内容に含めることを検討する仕組みに見直した。	(推進)	(推進)	情報システム課
	○調達ガイドラインの改定(評価方法の見直し)	◎		政策評価委員会における、評価表の様式を見直した。また、区民の利便性を向上しながら、職員の事務を効率化し、さらには費用面においても削減を実現するような優良事例等、全庁的に共有すべき案件を対象とするなど、評価方法を見直した。	(推進)	(推進)	情報システム課

中野区地域情報化推進計画 進捗状況一覧

【進捗状況の凡例】

- ◎・・・スケジュールどおり取り組んだ
- ・・・スケジュールどおりでなく、変更して取り組んだ
- △・・・着手したものの十分に進行しているとはいえない
- ×・・・未着手

実施内容		事業内容	進捗状況	スケジュールの変更理由	令和3年度までの取組状況	令和4年度取組予定	令和5年度以降取組予定	所管課
2-4-②	強固な情報セキュリティレベルの確保	セキュリティ運用(PDCAサイクル)	◎		職員向け研修、内部監査、外部審査等を実施した。	(推進)	(推進)	情報システム課
2-5-①	ICTスキルの高い人材の育成	◎人財マネジメントシステムの導入、活用	○	事業者募集を行ったが、不調になったため。	システム構築のための事業者募集を開始した。	事業者選定を行った後、システムを導入し利用開始する。	システムを活用し人材育成を行う。	職員課
		◎研修プログラムの実施	◎		ICT関連資格の取得に向けた研修の実施を検討した。	資格取得に向けた研修を計画的に実施する。	(推進)	情報システム課(職員課)
		◎ICT関連資格の取得支援	◎		資格取得費用の支援について次年度予算措置を行った。	資格取得支援制度を導入し、支援を開始する。	(推進)	職員課
2-5-②	外部人材の活用	◎任期を定めた外部人材の活用	○	スケジュールを前倒して、外部人材を採用したため	任期付職員として外部人材を3名採用した。	採用した人材の民間企業等における先進的な技術や専門的な知識等を活用する。	(推進)	職員課
		◎特別区におけるICT人材の確保の検討	◎		23区人事担当課長会において検討を行った。	引き続き23区人事担当課長会において検討を行う。	23区の採用選考導入後、区としての採用時期を検討	職員課